



NPO法人「じゃがいものおうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/np0-jaga@po.minc.ne.jp

代表 松田 正

台風、Typhoon

皆さんのところは大丈夫でしたか？屋久島にきて24年になりますが、今回の16号は1番か2番の強いものでした。高い山のせいで集落により状況は違うようですが、あのエネルギーのすごさをみれば、たまたもう手を合わせて無事過ぎてくれるのを待つしかない。一人の人間の出来ることなんて・・・と思い知らされた気がします。

しかし人間には知恵があります。人間社会だって、何もしなければただ強いものだけが大手を振って生きていく社会だろうけど、それじゃだめだってみんな気がついている。

誰もが対等に生きられる、そんな社会にするにはどうすればいいのか、それを考え少しずつでも形にしていくのが『じゃがいものおうち』の一番の目的です。

拠点の内部を少し模様替えし、喫茶部と奥の間に仕切をもうけました。事務仕事をしたり、会員が話し合ったりするとき必要なら区切れるようにするためです。これで水生輪さんがボランティアさんと過ごしたり、永綱さんがパソコンやったり・・・気兼ねなくできるようになると思います。どうですか皆さんも、たまには遊びに来てください。インターネットも出来ますよ。 (松田)

活動報告

温泉祭り 7月31日 尾之間

今年は10周年でもあり、ステージや出店も盛りだくさんでした。じゃがいものおうちも恒例のジャガコロ、綿あめ、ジュース等々の出店をしました。出店に協力を頂いた多くの皆様に厚く御礼申し上げます。これからも、小さな集落の手作りのお祭りに一役を担って、障害者福祉が地域の中に広がるよう、また来年もやりましょう。

縄文祭り 8月1日10時 原

最初は来場者は少なかったのですが 徐々に集まり、吉岡さんの演奏、サークルくれよんの風船作り等楽しい雰囲気の中でおこなわれました。

《縄文は、子供の成長や発達につまづきや遅れのある子たちに専門的に関り、導いて行く療育の場です。》

子供の成長におやっ？と思っているお母さんお父さん、

ぜひ縄文や保健師さんに相談して下さい。

2002年療育に役立てようと、島内各所に募金箱を置かせてもらいました。この間に集まったお金は、80,000円になりました。このたびの縄文祭りにさいまして縄文さんに40,000円、親の会へ40,000円を寄付させて頂きました。募金して下さいの皆様！募金箱をおかせていただいた皆様、大変ありがとうございました。

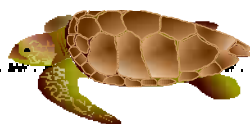
キャンプ 8月21日 栗生の青少年旅行村

(大人38名子供19名参加)

今年は天気にも恵まれ楽しい一時を過ごせました。親切なおじさんに船に乗せてもらったり、小亀の放流に立ち会えたりと嬉しいハプニングもあり子供達は大喜びでした。大人は夜遅くまで、帰りを心配することなくじっくりと話し込むことも出来ました。

このような機会は、これから増やしましょう。





「じゃがいものおうち」さまあキャンプ いん くりお くらとびあつし  
 やつとーと云うか、とうとつーと云うか、  
 今回ついにキャンプに参加させて貰いました。かれこれもう二年前となつた拠点の屋根  
 画制作以来、まさにつかず離れず図々しく勝  
 手気ままなおつきあいをさせて貰ってきたの  
 ですが、キャンプは初めて。数日前から「ス  
 イカ割りするの?」「花火は?」「泊まるの?  
 誰と寝るの?」と質問攻めの子供。「肝だめ  
 しはやつばお墓に行くにやるか?」と盛り上  
 がる自分。かくしてワイ／＼ガヤ／＼ゾロ  
 ン子供をひきつれての栗生入りでした。  
 エッチラオッチラ老いも若きもひと泳ぎし  
 た後、役割分担し、子供は散策、大人はメシ  
 炊き、巨大歯釜、大鍋に向かって戦闘開始。  
 まさに炎との格闘。いかに毎日がキャンプ生  
 活同然の身としても中々こいつは手強かつ  
 た。それだけに嗚呼、それゆえに乾杯のビー  
 ルはうまかった。自家製めしげ(しゃもじ)  
 も登場。やつぱりキャンプはカレーよ。とまあ  
 よく食べた。ファイヤ、ファイヤ、フ  
 アイヤ。日も沈み、少しずつ暮れてゆく  
 海をバックに炎が燃え上がる。火の粉が舞い  
 散る。その中U子さんの声が響く／＼。  
 その情景をボンヤリ眺めていると、少しの酔  
 いも手伝つてか柄にもなくフト二十数年前の  
 キャンプファイヤを思い出していました。  
 それは自閉症の子供たちとふつう(?)の  
 子供たちとを区別することなくともに学び遊  
 ぼうと云うことを目的とするグループが主催  
 するキャンプでした。以前からそのグルー  
 プとは縁あってちょく／＼絵を教えると言うか  
 のキャンプでもやつぱり子供たちと何かや

れ、と云いうことで、そこであらかじめ  
 ベニヤ板を使ってモンスター?なるもの  
 を数体作っておき、当日子供たちに色を  
 塗らせキャンプファイヤではそれを動  
 かしたりしながら、現れた山の神様(ち  
 なみに小生がそれに扮し)と共に芸能合  
 戦を繰り広げるものでした。(何やらまっ  
 たく今と何ら変わっていない!)  
 好き勝手をしていたので楽しかったの  
 は当然なのですが、その時接した障害を  
 持つ子供達の親御さん達の底抜けのよう  
 な明るさ、たくましさ、正直とても驚き、  
 かつ感動したので今も鮮烈に憶えていま  
 す。マイナスをプラスにするこの力(パ  
 ワー)はどこから来るのだろうかと...  
 しかしそれからその力(パワー)に引き  
 寄せられるままに、自閉症の子供達と絵  
 を通して接するに従い勝手にマイナスポ  
 ラスと決め込んでいた自分の間違いに気  
 づかされた。むしろ彼達からどれほど多  
 くのことを教えられたことが。それは今  
 も大切な経験となっているのでした。「そ  
 れぞれは違う。だからこそ共に生きる。  
 大切に思う...」と。  
 あのキャンプファイヤからは時は流  
 れ、場所も人も変わっているのに、今こ  
 うしてこのキャンプファイヤの前で再  
 び共に生きることを真剣に考え、底抜け  
 に明るくたくましい素晴らしい人々と共  
 にいることを単純に単純にうれしく感じ  
 るのでした。ありがとうございました。  
 さて、ところでボチボチ屋根画の色が  
 あせてきたようですが...



くらとび家の  
 子供達の作品です



毎年このキャンプに使用しているパンカ  
 口や入村料を屋久町に免除してもらっ  
 ています。  
 私達の活動にご理解をいただきまして深  
 く感謝申し上げます。



## 地域通貨について

記録を更新する暑い夏、(じゃがいものおうち)の皆さん元気に過ごされましたか。日々リハビリに励む私は、尾之間に住む者がいただく恩恵を受けて、無料の温泉入浴が大きな助けとなっています。それにつけても屋久島でこの恩恵を地域通貨にできれば、どれほど多くの人々の助けになるか・・・と。社会のお金の流れには本来人が備えている生きる喜びが見えなくなっている現実の歪み、既存の価値基準から抜け出して自分たち自身の手で創造出来るのが地域通貨の可能性であろうと思います。ボランティアと寄付を主財源にしながら活動している(じゃがいものおうち)の暖かさこそ、その母体となる基盤ではないでしょうか。切実な需要が大らかな需要に、

眠っている潜在能力を呼び起こして自発的な供給が出来るような道筋を時間をかけて、わずかで小さな事からでも始めてみませんか。日本でも地域通貨は各地で様々な考え、型、方法で行われておりますが積年地域通貨への思いを暖めてきた松田正さんのところにビデオや資料があると聞きました。ビデオを見ることからでも始めませんか。合掌

大原 貞子

ビデオ鑑賞会

日時：2004年9月19日 14:00～

場所：じゃがいものおうち

題名：続エンデの遺言『希望』(約50分)

## 屋久島福祉マップ制作の再開

滞っていた福祉マップ、総会の時にも5月から再開しますといっておきながら、予算不足や事務局体制がうまく整わないこともあり、フリーズしていました。深くお詫び申し上げますとともに、ここに改めて協力いただける方を募集し、これまでに決定したことの再検討と確認、調査を始めたいと思います。

県の方でも10年ぶりの改訂版として「鹿児島ふれあいマップ」の調査が始まったようです。屋久島福祉マップは、島に住む人に使いやすいものになりたいと思っています。関心のある方、力と知恵を貸してください。右記の予定で会を開きますので参加をお願いします。なお今回初めての方は連絡いただければ前回までの資料をお届けしたいと思います。

第7回福祉マップ部会

日時：9月18日(土)

20:00～21:30

場所：じゃがいものおうち

連絡先：松田(47-2091)または  
じゃがいものおうち(47-3588)



## ～大きく広がった人の輪～ たんかんジュ - スの想い

2月と3月に、みんなでいきいきと一生懸命に作った、たんかんジュ - ス3500本が残り数10本となりました。いろんな想いがあったと思います.....

「本当に売れるのだろうか.....」

「いや大丈夫だ.....」

「やるだけやれば道は開ける.....」

製造の段階から不安や希望がいりまじった想いが、この8月で終了しました。本当におつかれさまでした。

“じゃがいものおうち”の想いが、たんかんジュ - スによって、全国に発信されたことが一番大きなことでした。

全国から、または外国から、この屋久島に観光などでこられた人々が、おみやげに自分用にと買って下さり“障害者と共に歩む仲間達「じゃがいものおうち」”を知っていただけました。

人の輪の広がりがこのたんかんジュ - ス1本1本によって、大きくなった想いが、本当に心よりうれしく思います。今まで屋久島から全国への発信ができなかったことをおもえば、素晴らしい結果となりました。

今後もこの想いを大切に頑張りたいと思います、そして製造や販売に、一生懸命に力をつくしていただいた方々に感謝しお礼申し上げます。たんかんジュ - スの想いを代表して、ありがとうございました。

鈴木



## 吉田町へ移って～

妻の転勤で一緒に鹿児島へ来て、屋久島と違い、役場の手続きの面倒くささと長さにイライラしましたが、自分の認識不足で、当たり前でした。

屋久島の環境と違う為利用料金は高いのですが、体調を崩していたためと、これからの体調管理のため訪問看護師さんが来てくれるように頼みました。少し遅れてヘルパーさんも来るように手続きもしました。

それから体調も良くなったので、事業所の実習と見学もし、今、連絡を待っているところです。(訪問・ヘルパー・事業所は「麦の芽」です)そうそう、

ヘルパーさんの利用時間を自分で決められます。移動介護の時間も決められます。(自分も移動介護も利用出来るようにしてます。まだ利用してませんが)

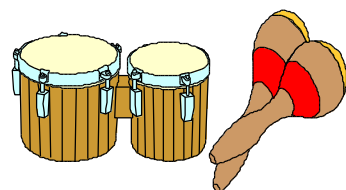
今は家族全員元気で過ごしています。でもこちらは、冬は雪が積もる位寒くなるので、台風より心配です(体調が・・・)。あっ、新幹線にも乗りましたよ！でもほぼトンネルでした。後、水族館の利用料金がタダでした。

11月1日からいま住んでいる「吉田町」が鹿児島市と合併になります。詳しい住所は後日連絡します。  
日高 広啓

## 障害者の日の催しについて

今年度の総会時、障害者の日にイベントを企画中とお知らせしましたが、理事会で協議をした結果、各種障害者団体に呼びかけ、12月5日に交流を目的としたリズム遊びの会(仮称)を行うことに変更しました。それに向けて、じゃがじゃが千恵袋(ものづくりの集い)を再開し、太鼓やマラカスなどの楽器を作ることから始めます。

(参考)障害者の日というのは1981年の国際障害者年を記念して、障害者問題についての国民の理解と認識を深めるために障害者基本法に定められましたが、今年の6月の法改正で12月3日～12月9日までの一週間を障害者週間とするようになりました。



## 農作業の今までとこれから

- 4月・・・ウコンのスライスと天日干し
- 5月下旬・・・ウコン植え付け
- 7月・・・中耕、培土、除草
- 10月下旬・・・じゃがいも植え付け
- 11月下旬・・・第1回中耕、培土
- 1月中旬・・・第2回中耕、培土
- 2月・・・ウコン類堀取り、洗浄、スライス、天日干し開始
- 3月・・・じゃがいも堀取り

ウコン類、台風で葉っぱが大きく痛んでしまいました(特に秋ウコン)が・・・

今後の作業については通信などでお知らせしますのでご協力を宜しくお願いします。



## 拠点の清掃作業協力をお願い

9月19日(日)AM9:00より

拠点が出来てもう4年が経ちました。外壁の塗装も薄くなり、塗り替えの時期です。度々来る台風のおかげで周辺の花木が荒れています。その他気になる個所をきれいにしたいと思います。(弁当、草刈機、鎌、鋏、剪定ハサミ、汚れてもいい服装、軍手 持参)

通信部会のメンバーが増えました、**大家正樹さん**です。これからはホームページ作りの方も手伝ってもらい、まもなく再発信します。乞うご期待！

## 新会員紹介

「鹿島浩二さん」「きまま工房の山口康文さん」  
皆さんよろしく！

## 感謝録

2004年8月～9月 (五十音順、敬称略)  
柴 堯子 高田勝子 高山宏子 中井信司  
西森利江 林田瑠美子 日高みす 藤井恵美子  
真津祥子 脇田武志

ありがとうございました。

## 編集後記

二つの強い台風も来ましたが、皆さんのおかげで通信が出来ました。これからもご協力を宜しくお願いします。皆さんも、たまには遊びに来てください。「じゃがいものおうち」との出会いが、私の人生を変えてくれました。汗を流す苦労も喜びとして私達の生活になっています。

永綱